

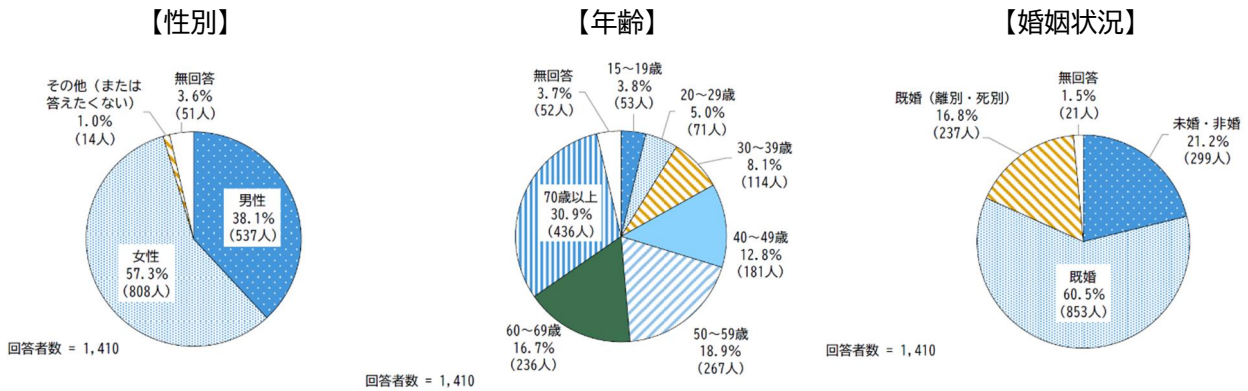
令和7（2025）年度 伊丹市人権・男女共同参画に関する市民意識調査 調査結果報告書【概要版（男女共同参画）】

調査の概要

- 1 調査の目的：人権と男女共同参画に関する市民意識の現状を把握するとともに、今後の人権教育・啓発の効果的な推進及び男女共同参画計画の推進・見直しの基礎資料として、調査を実施しました。
- 2 調査対象：伊丹市在住の満15歳以上から、3,000人を無作為抽出
- 3 調査期間：令和7年10月6日～令和7年10月24日
- 4 調査方法：郵送による配布、郵送回収及びWEBフォームによる回答

配布数	回収数	回収率
3,000件	1,410件	47.0%

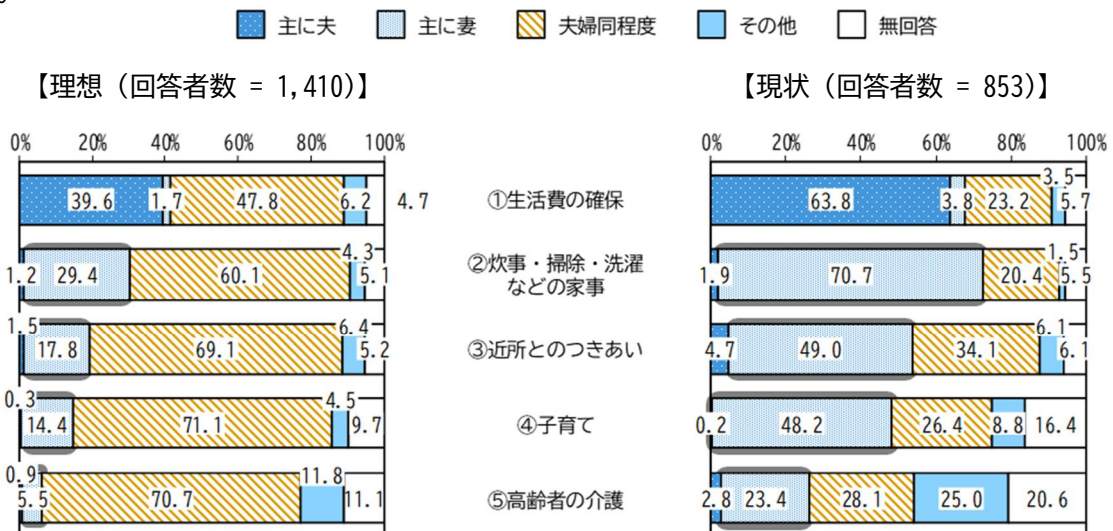
5 回答者の属性：



調査結果

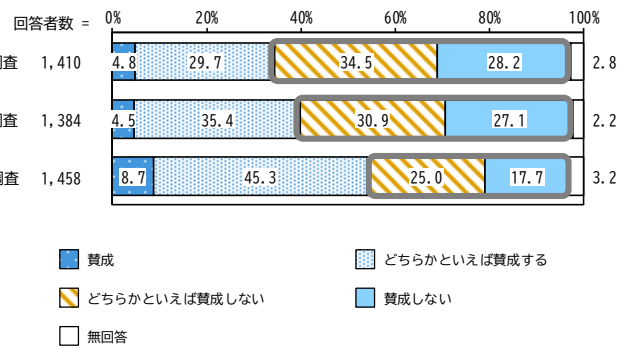
日常的な家事・仕事などの役割分担の理想と現状（本編 p85）

『②炊事・掃除・洗濯などの家事』、『③近所とのつきあい』、『④子育て』、『⑤高齢者の介護』では、理想に比べて現状で、「主に妻」の割合が高くなっており、多くの役割を女性が担っている現状がうかがえます。



「男は仕事、女は家事・育児」という考え方について (本編 p88)

「どちらかといえば賛成しない」「賛成しない」を合わせた“賛成しない”の割合が62.7%となっています。過去調査と比較すると、平成27年度が42.7%、令和2年度が58.0%と“賛成しない”の割合が増加しており、固定的な性別役割分担意識を持つ人が少なくなっている状況がうかがえます。

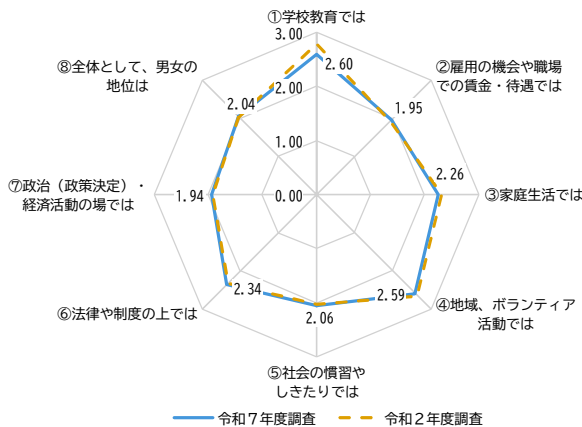


日本社会における男性と女性の地位の平等感 (本編 p98)

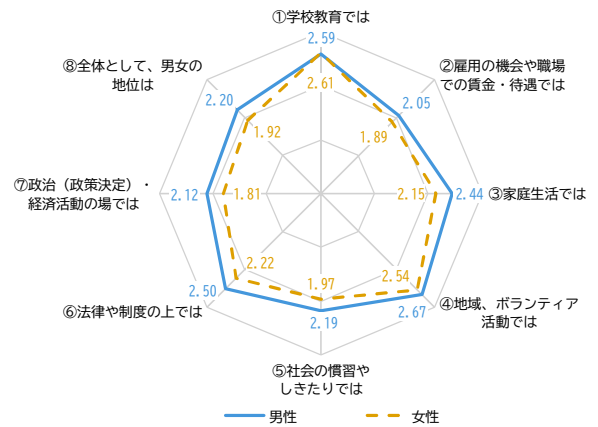
男性と女性の地位は平等になっていると思うかについて、『①学校教育では』で、平等感が高くなっています。一方、『②雇用の機会や職場の賃金・待遇では』、『⑦政治(政策決定)・経済活動の場では』で、平等感が低くなっています。令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

性別でみると、『①学校教育では』を除くすべての項目で、男性は女性に比べて平等感が高くなっています。

【経年比較】



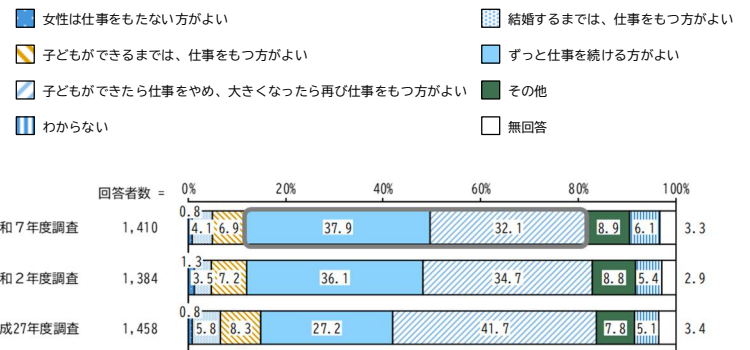
【性別比較】



女性が仕事をもつことについての考え (本編 p115)

「ずっと仕事を続ける方がよい」の割合が37.9%と最も高く、次いで「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」の割合が32.1%となっています。

過去調査と比較すると、平成27年度以降「ずっと仕事を続ける方がよい」の割合が増加しています。

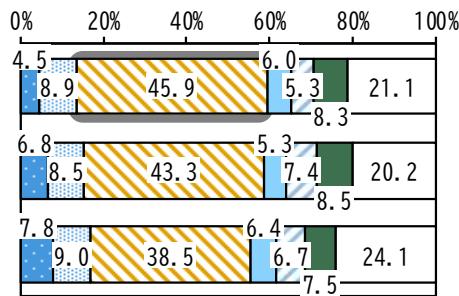


生活の中での「仕事」と「家庭生活や地域活動」のバランスについて (本編 p117)

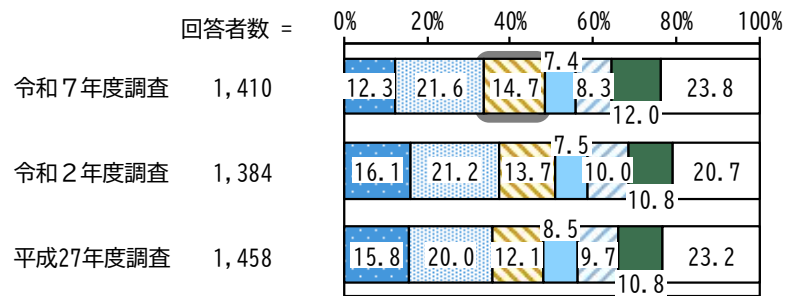
理想と現状で比較すると、『仕事』と『家庭生活や地域活動』のバランスをうまくとっている」の割合に31.2ポイントの差があり、乖離が大きくなっています。また、過去調査と比較すると、平成27年度以降、26.4ポイント、29.6ポイントと乖離が大きくなっています。

- 「仕事」を優先している
- どちらかといえば「仕事」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活や地域活動」のバランスをうまくとっている
- どちらかといえば「家庭生活や地域活動」を優先している
- 「家庭生活や地域活動」を優先している
- わからない
- 無回答

【理想】

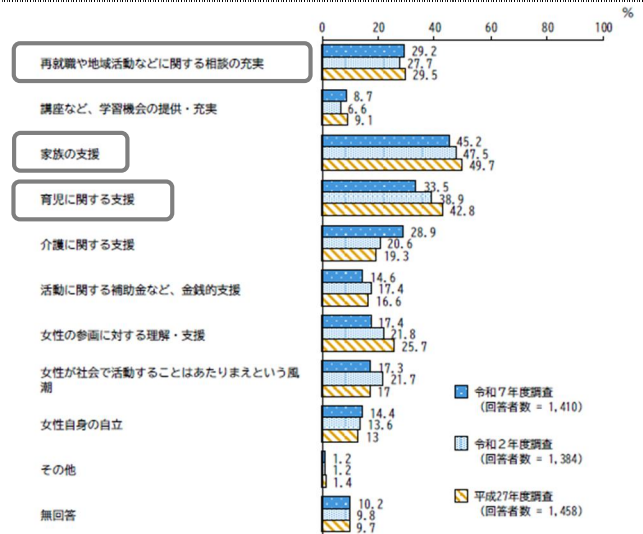


【現状】



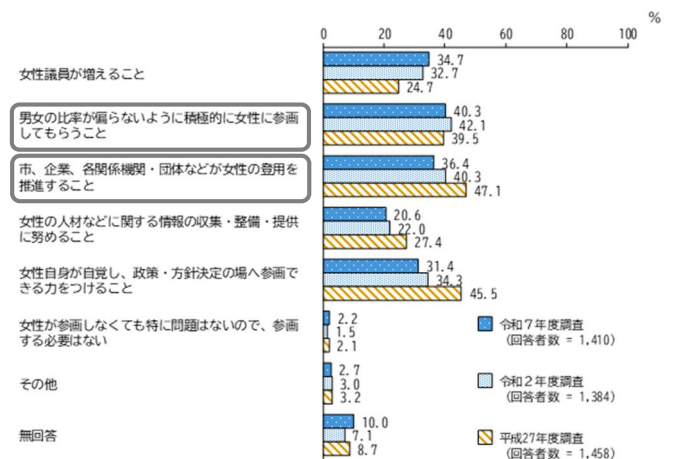
女性が再就職や地域活動など様々な活動に参画するために必要なこと (本編 p113)

「家族の支援」の割合が45.2%と最も高く、次いで「育児に関する支援」の割合が33.5%、「再就職や地域活動などに関する相談の充実」の割合が29.2%となっています。



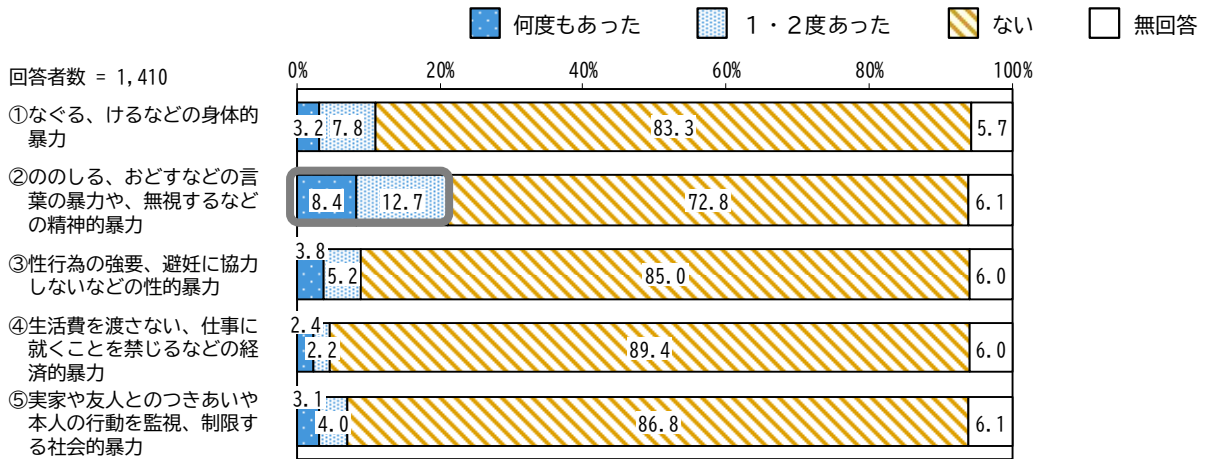
政策や方針決定の場において女性の参画をすすめるために必要なこと (本編 p140)

「男女の比率が偏らないように積極的に女性に参画してもらうこと」の割合が40.3%と最も高く、次いで「市、企業、各関係機関・団体などが女性の登用を推進すること」の割合が36.4%となっています。

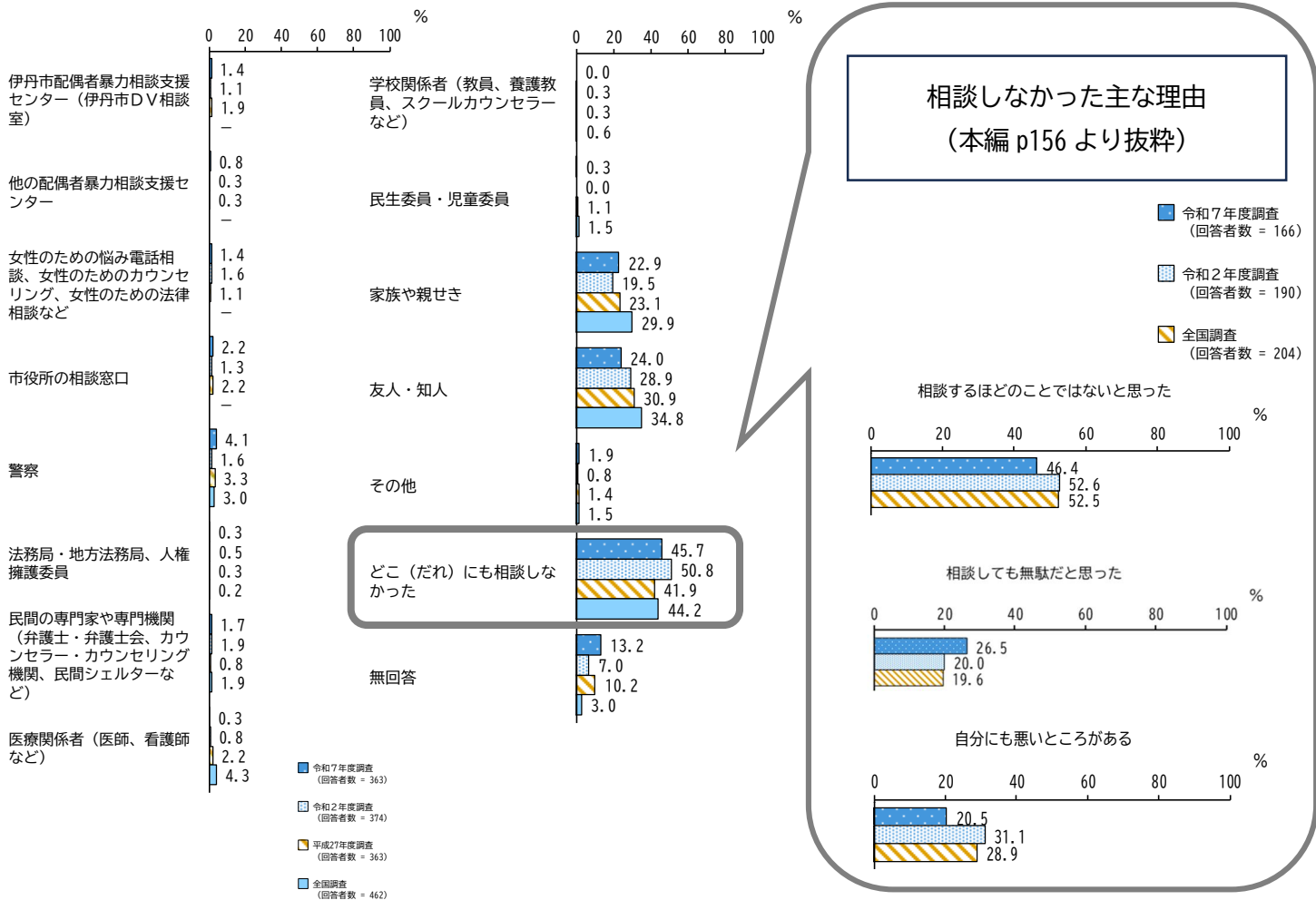


配偶者や交際相手から暴力を受けた経験とその時の相談先（本編 p149、154）

『②ののしる、おどすなどの言葉の暴力や、無視するなどの精神的暴力』で「何度もあった」と「1・2度あった」を合わせた“あった”が高くなっています。



暴力を受けた行為の相談先についてみると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が45.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が24.0%、「家族や親せき」の割合が22.9%となっています。過去調査と比較すると、令和2年度調査に比べ、令和7年度では「どこ（だれ）にも相談しなかった」の割合が5.1ポイント減少しています。



発行年月：令和8年3月

発行：伊丹市 市民自治部 共生推進室 男女共同参画課

〒664-8503 伊丹市千僧1-1 電話：072-784-8146